



としょかんひろば

本と出会い、人と出会い、仲間が生まれる図書館 2021年6月 第241号

Books are for all 東近江市立永源寺・愛東・湖東図書館

** 図書館カレンダー **

■はお休み（第4金曜日は原則整理休館日）

永源寺 愛東

永源寺図書館
ものづくり展

6月16日(水)から
7月11日(日)まで

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



湖東

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

** 映画会 **

<永源寺図書館>

5日(土) 14:00~16:00

「太陽がいっぱい」(洋画/字幕)

<湖東図書館>

12日(土) 14:00~15:40 「嵐を呼ぶ男」(邦画)

** ごぞんじですか **

インターネットで、図書館の資料を検索したり
本や雑誌のバックナンバーを予約することができます。
右のQRコードから、図書館ホームページにアクセス
してみてください。

※予約には図書館で発行するパスワードが必要です

各館の開館時間・連絡先

永源寺図書館 開館：10時~18時
tel:0748-27-8050 IP:050-5801-8050
fax:0748-27-8090

愛東図書館 開館：9時~17時
tel:0749-46-2266 IP:050-5801-2266

湖東図書館 開館：10時~18時
(木曜日のみ20時まで)
tel:0749-45-2300 IP:050-5801-2300
fax:0749-45-3343

図書館ホームページ→



あたらしくはいった本（永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します）

くらし・健康

真夏の刺身弁当	沢野 ひとし／著	産業編集センター
はじめてのキャンプforファミリー		昭文社
京都古民家カフェ日和	川口 葉子／著	世界文化社
「生きがい」と出会うために	若松 英輔／著	NHK出版
もしも、私が「がん」になったら。	藤田 紘一郎／著	光文社
健康管理する人が必ず知っておきたい栄養学の○と× 改訂版	古畑 公／(他)著	誠文堂新光社
小さな家の大きな暮らし	gestalten／編	パイ・インターナショナル
心と体がうるおう肌にやさしい手作り石けん	木下 和美／著	大泉書店

『蝶が来る庭 バタフライガーデンのすすめ』 海野和夫/著 草思社

バタフライガーデンとは、蝶たちを呼ぶために作られた庭のことです。この本では、美しい蝶の写真とともに、蝶が集まりやすい草花を紹介しています。タンポポやアザミなどの野草のほか、ヒャクニチソウやマリーゴールドの花にもよく蝶が集まり、赤紫など紫がかった色の宿根草を好む蝶が多いそうです。夏は自然の環境では花が少ないので、蝶の好む花を花壇に植えることは、蝶の保全にも役立ちます。ワクワクしながら、庭に蝶が訪れるのを待つ。毎日の暮らしに、そんな小さな楽しみを取り入れてみてはいかがでしょうか。



リンネル私のベストスタイル		宝島社
ちょっとおしゃれでずっと元気に暮らす	村上 祥子／著	PHP研究所
おうち時間を心地よく…一枚裁ちのゆったりきれいな手ぬい服	高橋 恵美子／著	ブティック社
旅と料理	細川 亜衣／著	CCCメディアハウス
日本全国地魚定食紀行	うぬま いちろう／著	徳間書店
伝え継ぐ日本の家庭料理 いも・豆・海藻のおかず	日本調理科学会／編	農山漁村文化協会
梅干しを漬けてわかること	有元 葉子／著	文化出版局
おうちでかんたんごちそう抹茶ドリンク	山政小山園／著	淡交社
今の暮らしを快適に変える収納レッスン	本多 さおり／著	宝島社
無農薬菜園はじめよう	麻生 健洲／著	家の光協会

社会・教育・福祉

見る読む分かるIT&デジタル重要キーワード	日経パソコン／編	日経BP社
内側から見た「AI大国」中国	福田 直之／著	朝日新聞出版
47都道府県の底力がわかる事典	葉上 太郎／著	文藝春秋
日本の装束解剖図鑑	八條 忠基／著	エクスナレッジ
「暮し」のファシズム	大塚 英志／著	筑摩書房

『「低度」外国人材 移民焼き畑国家、日本』 安田峰俊/著 KADOKAWA



最近、低賃金と雇い主によるパワハラに耐えられずに失踪する、ベトナム人技能実習生のニュースをよく耳にします。受け入れ側の日本の制度、ベトナムの送り出し機関や日本の管理団体による中間搾取、在留外国人同士のパワーバランスなど、一筋縄ではいかない要素が絡み合っているこの問題を、本書では丁寧な取材によって明らかにしていきます。著者は東近江出身、天安門事件を検証した『八九六四』(KADOKAWA)で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞したルポライター。突きつけられた現代日本社会のひずみに、見ないふりはできなくなります。

氏名の誕生	尾脇 秀和／著	筑摩書房
渋沢栄一	武田 晴人／著	ミネルヴァ書房
市民意識調査結果報告書 令和2年度		東近江市企画部総合政策課
滋賀県統計書 令和元年度(2019年度)	滋賀県総合企画部統計課／編	滋賀県総合企画部統計課
世界の指導者図鑑 2021～2022年版	地球の歩き方編集室／著	地球の歩き方
まるわかり！行政のデジタル化		日経BP日本経済新聞出版本部
イドコロをつくる	伊藤 洋志／著	東京書籍
相手の身になる練習	鎌田 實／著	小学館
親の期待に応えなくていい	鴻上 尚史／著	小学館
老いの福袋	樋口 恵子／著	中央公論新社

自然・ビジネス・産業

エクセル方眼紙で文書を作るのはやめなさい	四禮 静子／著	技術評論社
DXの教養	志度 昌宏／著	インプレス
大学入試数学不朽の名問100	鈴木 貫太郎／著	講談社
子どもと一緒に覚えたい木の実の名前		マイルスタッフ
にっぽんのカワセミ	ポンプラボ／編	カンゼン

『16歳からの相対性理論 アインシュタインに挑む夏休み』 佐宮圭／著 筑摩書房

「なぜ光の速さは変わらないのか？その理由を教えて。」ひよんな事からアインシュタインの物理の理論に取り組むことになった、陸上部の高校一年、鈴木数馬。生徒の間で「秘密クラブ」と噂される科学部の先輩達に巻き込まれながら「どうして重力は物を落とすのか」「時間は絶対的なものなのか」という難題に挑みます。本書では、思考と実験を繰り返して相対性理論を理解しようとする高校生の姿が、物語の形で描かれています。

はたして夏休み、彼らの挑戦の結果は？ ぜひ、ご一読ください。



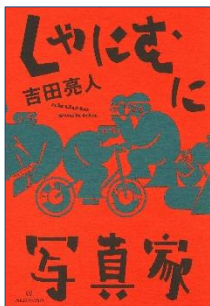
トコトンやさしい土木技術の本	溝渕 利明／著	日刊工業新聞社
バイオプラの教科書	小松 道男／著	日経BP社
今さら聞けない農業・農村用語事典	農山漁村文化協会／編	農山漁村文化協会
森林・林業実務必携 第2版	東京農工大学農学部森林・林業実務必携編集委員会／編	朝倉書店
狩猟を仕事にするための本	東雲 輝之／著	秀和システム

芸術・趣味

大河ドラマの黄金時代	春日 太一／著	NHK出版
鉄印帳でめぐる全国の魅力的な鉄道40	地球の歩き方編集室／著	学研プラス
水墨画花の新技法	久山 一枝／著	日貿出版社
ガラスフュージング	近岡 令／著	誠文堂新光社
鶴のおりがみ	布施 知子／著	誠文堂新光社
K-POPはなぜ世界を熱くするのか	田中 絵里菜／著	朝日出版社
囲碁・現代定石事情	河野 光樹／著	マイナビ出版

『しゃにむに写真家』 吉田亮人／著 亜紀書房

「大事な話がある」。第一子が生まれてしばらくしたころの夜、神妙な面持ちで話を切り出した妻は、「この家に公務員は二人要らん。一人でいいと思うねん。だから亮人、先生やめて」と言ったのだった……。衝撃的なきっかけではじまった、滋賀大学卒・元小学校教員の写真家生活。学生時代にちょっとやっていた程度のカメラで、はたして身を立てられるのか。タイ、中国、インド、バングラデシュ、そして日本を歩くうち、著者のレンズは「働く人」の姿にひきつけられていく。



ことば・文学・小説

世界の「こんにちは」 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所／監修 日経ナショナルジオグラフィック社
時代を撃つノンフィクション100 佐高 信／著 岩波書店
日本古典と感染症 ロバート・キャンベル／編著 KADOKAWA
黒い雲と白い雲との境目にグレーではない光が見える 26人のがんサバイバーあゝの風プロジェクト／著 左右社
いつかどこかで 谷川 俊太郎／著 集英社

『家族って』 しまおまほ／著 河出書房新社

父方の祖父「ジタン」こと作家の島尾敏雄、祖母「マンマー」こと島尾ミホ、叔母マヤ、写真家の両親、そして未婚という形で産んだ息子。記憶の中の「家族」と現在進行形の「家族」への想い……。長らく両親と暮らした実家を離れ、息子の父親との3人暮らしを経て、息子との2人暮らしへと移行行くなか、孫として娘として母として、大切な人々と過ごしたかけがえない日々を振り返る、ユーモラスで時に切ないエッセイ集です。



- 『コーチ！ はげまし屋・立花ことりのクライアントファイル』 オンラインで人生相談 青木 祐子／著 講談社
『春夏秋冬代行者 春の舞』上・下 冬しか季節のない世界ではじまる「現人神」の物語 暁 佳奈／著 KADOKAWA
『継争 禁裏付雅帳12』 江戸へ向かう鷹矢を松平定信が待ち受ける。シリーズ完結 上田 秀人／著 徳間書店
『道連れ彦輔居直り道中』 謎の美少女と中山道をゆく彦輔たちを難関が次々襲う 逢坂 剛／著 毎日新聞出版
『櫻子さんの足下には死体が埋まっている 櫻花の葬送』 シリーズ完結 太田 紫織／著 KADOKAWA
『偶然の家族』 30年を経てよみがえる血縁を超えた“家族”のかたち。その後の物語も 落合 恵子／著 東京新聞
『ラストは初めから決まっていた』 交換日記が導く恋の行方と、隠された秘密 小手鞠 るい／著 ポプラ社
『曲亭の家』 馬琴の息子に嫁いだお路。作家の修羅に翻弄されながらも己の道を開く 西條 奈加／著 角川春樹事務所
『己丑の大火 照降町四季2』 見習い職人の捨てた煙管の火が、江戸の町を襲う 佐伯 泰英／著 文藝春秋
『あかね紫』 藤原道長からの密命に、紫式部の娘・賢子ら平安女子3人が駆け回る 篠 綾子／著 集英社
『田舎のボルシェ』 軽トラ、ボルボ、そしてロケバスの物語。心躍るロードノベル3編 篠田 節子／著 文藝春秋
『ヴィクトリアン・ホテル』 長い歴史を終える前夜のホテル。予測不能な夜が始まる 下村 敦史／著 実業之日本社
『半逆光』 クローゼットの片隅のパソコンには、ある女性と親密に交わす夫のメールが 谷村 志穂／著 KADOKAWA
『非弁護人』 裏社会で頼りにされる元特捜検事。失踪した少女一家の行方を追うが 月村 了衛／著 徳間書店
『沈黙の終わり』上・下 県をまたいだ卑劣な事件。解決の壁は大人の無駄なプライド 堂場 瞬一／著 角川春樹事務所
『鬼神の叫び はぐれ長屋の用心棒』 非道な賊の所業に源九郎は。シリーズ第51弾 鳥羽 亮／著 双葉社
『カード師』 「彼」が組織から依頼された仕事は、ある冷酷な資産家の顧問占い師 中村 文則／著 朝日新聞出版
『夜想曲……別れ』 内田康夫の妻として、作家として、夫婦のありかたを問う短編集 早坂 真紀／著 光文社
『色なき風 藍染袴お匙帖』 茶問屋の娘が口を割らぬ、子の父親は。シリーズ第13弾 藤原 緋沙子／著 双葉社
『植物忌』 避暑する木、記憶する密林。植物に取り込まれてゆくヒトたちを描く短編集 星野 智幸／著 朝日新聞出版
『エレジーは流れない』 海と山に囲まれるさびれた温泉町に、土器盗難のニュースが 三浦 しをん／著 双葉社
『魂手形 三島屋変調百物語七之続』 嘘も真実も善きも悪しきも。江戸怪談の新骨頂 宮部 みゆき／著 KADOKAWA
『青い孤島』 東西でにらみあう島を活性化せよ！ 「無能」と呼ばれた会社員の奮闘 森沢 明夫／著 双葉社
『白鯨 MOBY-DICK』 ジョン万次郎が乗っていたのはエイハブ船長のあの船！？ 夢枕 獺／著 KADOKAWA
『なんで家族を続けるの？』 樹木希林の娘と脳科学者が語る家族の不思議 内田 也哉子&中野 信子／著 文藝春秋
『ベンチの足 考えの整頓』 ベンチの足に感じた違和感の正体は。「暮らしの手帖」連載 佐藤 雅彦／著 暮らしの手帖社
『物語のものがたり』 秘密の花園、赤毛のアン…物語の名手が先人の名作を読み解く 梨木 香歩／著 岩波書店
『むしろ、考える家事』 心をゼロにして向かうのではない。家事「で」革命を起こそう！ 山崎 ナオコーラ／著 KADOKAWA
『アウシュヴィッツで君を想う』 徹底的に非人間的な環境でも、人は人を愛せるか エディ・デ・ウィンド／著 早川書房
『流転の海読本』 37年、全9巻で完結した宮本輝の大作を徹底調査したガイドブック 堀井 憲一郎／著 新潮社

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。